



共働・共助を目標に、シルバーのSと、センターのCを組み合わせ、飛躍する人の姿を表わしたマーク。

会報シルバー か 茂

第 57 号

令和3年1月15日

公益社団法人
加茂市シルバー人材センター
加茂市幸町2丁目3番5号
☎ (0256) 53-1772
FAX (0256) 53-3333
E-mail: kamo@sjc.ne.jp
HP: www.sjc.ne.jp/kamo

明けましておめでとうございます



コロナ禍で看護科実習の患者役で就業 (加茂暁星高校 会員14名)

謹賀新年

今年もよろしく
お願いいたします。

監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	常務理事 事務局長	副理事長	理事長
森田一郎	中村豊	藤田和夫	林昭英	阿部穂子	菊田静代	金田武雄	皆藤英治	小林豊	渡辺栄	樋口正治	薄木喜勝	



新年のごあいさつ

理事長 薄 木 喜 勝

新年明けましておめでとうござい
ます。

令和三年の新春を迎え、会員の皆
さまには、お健やかに初春をお迎え
のこととお慶び申しあげます。
年頭にあたり会員皆さまの日ごろ
のご努力とご協力に対して厚くお礼
申しあげます。

さて令和二年をかえりみますとコ
ロナに始まり、コロナで終わるとい
う想像を絶する厳しい年を経験いた
しました。コロナにより日常生活を
根底から覆す結果となり、皆様には
大変ご苦労されたことと存じます。

シルバー人材センターも予定され
た年度計画も種々変更を余儀なくさ
れました。特に会員増加運動につい
ては思うように進んでおりません。
事業実績についても市関連のコミ
セン等がコロナによる休業により会
員の皆さまにもご迷惑をかける結果
となりました。

こんな令和二年を經過し、令和三
年を迎えますが令和三年も残念なが
らコロナ禍でのスタートとなります
す。我々の行動も制限され、経済も

疲弊しております。これを早く日常
生活にもどすことが求められること
ろです。それには一日も早くコロナ
ワクチンの開発が急務といわれてお
ります。今年の春には市場に出ると
の報道もあり、それに期待をしてお
ります。

いずれにしても高齢化社会が続き
ます。私は、昭和の生まれは「おせ
っかいやき」だと思っております。
今こそこの「おせっかいやき」の
老人力をシルバー会員で發揮して、
地域振興に役立てようではありません
か。

いろいろで巣ごもりしております
が、お互いに三蜜を避けみんなであ
しみながら知恵をだして、この困難
を乗り切りましょう。
令和三年は「コロナからの脱却」、
これにつぎると思います。

今年こそは天候に恵まれ、穏やか
な就業が続くことを願っております。
新春を迎えるにあたり皆さまのご
多幸とご活躍を心からご祈念申しあ
げ、新年のごあいさつといたします。



年頭のご挨拶

加茂市長 藤 田 明 美

新年明けましておめでとうござい
ます。

会員の皆様におかれましては、新
春を健やかに迎えのこととお慶び
申し上げます。
また、日頃より市政の推進に格別
のご理解とご協力を賜り、厚く御礼
申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症
の影響により、市民活動や経済活動
の自粛など大きな制約がある中で、
皆様が努力してこられたこととお察
します。
感染の心配と緊張に耐え、日々、
任務にあたっていらつしやることに
対し、心より敬意を表し、感謝申し
上げます。

さて、全国的に人口減少と少子高
齢化が進む中、加茂市は子どもから
高齢者まで誰もが安心して暮らせる
まちづくりを目指しています。現役
として社会参加を続けたい、地域社
会の発展に貢献したいと望んでおら
れる高齢者の方々も多く、多様化し
た就業ニーズに対応した働く場を提
供してくださるシルバー人材セン

ターの果たす役割は、益々重要性を
増しています。
今後もシルバー人材センター事業
の発展と拡充は、理事長様をはじ
め、事務局の皆様のご尽力はもとよ
り、仕事に真摯に取り組み、それぞ
れの就業先で確かな信頼を得てい
らつしやる会員一人一人の皆様のお
力が不可欠です。
加茂市シルバー人材センターにお
かれましては、どうか今後とも、地
域社会の活性化と福祉の向上にお力
添えを賜りますようお願い申し上げ
ますとともに、会員の皆様は益々お
元気で活躍されますことを期待申し
上げます。
結びに、新しい年が皆様にとって
素晴らしい一年となりますようお祈
り申し上げます、新年のご挨拶と
いたします。

発注先からご寄稿いただきました

コロナ禍での看護実習補助

加茂暁星高等学校看護科

難波 寛子(先生)

看護師の資格取得には医療現場等での臨地実習が必須となっていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、一部を校内実習に代替して教育活動を継続してきました。

校内実習では、医療・介護現場の環境を実習室に再現しましたが、状況に応じた対応、現場で感じる不安や葛藤などを生徒が体験できるようにすることに苦慮しました。そこで患者役をシルバー人材センターの会員の皆様に依頼することにしました。



実習に参加した生徒からは、模擬患者様に「なぜこんな病気になってしまったのか」、「この治療はなぜ行っているのか」と尋ねられた際、

わかりやすい説明や不安を和らげる関わりができず、自己の課題を再認識できたという感想が聞かれました。

また、会員の皆様が社会でいきいきと活動されている姿をとらえることができ、高齢者のイメージを広げることができました。

コロナ禍での実習には制約が多いですが、新しいスタイルを取り入れ、学びが豊かになりました。

新しく入会した方々です

よろしくお願ひします

(令和2年1月〜12月末まで)

七谷地区

- 波塚 三夫(黒水)
- 高橋 孝広(岩野)
- 大橋 富子(黒水)
- 西潟 順子(下大谷)

加茂地区

- 岩淵 武夫(青海町)
- 金子 恵美子(加茂新田)

清水 純一(五番町)

今井 朋子(上条)

石井 紀子(八幡)

坂井 功(八幡)

小林 安則(大郷町)

木津 研二(大郷町)

石井 良一(八幡)

松原 幸子(狭口)

星野 美和子(幸町)

野口 久美子(高須町)

樋口 清(希望ヶ丘)

北沢 薫(八幡)

加藤 小夜子(寿町)

土田 享子(若宮町)

志田 京子(学校町)

大塚 恵子(大郷町)

下条地区

中山 昌二(横江)

土田 秀子(下興屋向)

渡部 正(下興屋向)

有本 イミ子(横江)

土田 雅子(芝野)

渡辺 典子(上下条)

関川 忠(芝野)

須田地区

中沢 美智子(後須田)

以上30名

園児バスの運転

狭口 番場 輝行

以前の会社勤務のときは、大型車を運転しており、退職後もスクールバスの運行をしていました。

車の運転が好きなので、シルバー人材センターに入会して、園児バスの運転業務をさせていただき五年になります。

園のバスには保育士さんも同乗します。私は、玄関付近やバスの周囲の園児の動きに注意します。そして走行中や右左折のとき、交差点で急ブレーキにならないように、運転に集中します。また今のコロナ禍では、マスク着用やバスの窓開け、消毒作業も大切です。

朝の「おはよう」帰りの「バイバイ」と声かけあいさつの可愛らしい姿を目にすると、安全運転をしなればならないと痛感しています。

毎年十一月にシルバー事業で、田上自動車学校での安全運転講習会を受講しています。

自分では、正しい運転をしていると思っても、路上試験を受けると小さなミスやくせがあるということに自覚して、気を引き締めて、毎日の送迎に取り組んでいます。

シルバー 写真で振り返る2020年



安全管理委員会



庭木の剪定作業



路肩の機械刈り



庭木冬囲い作業



街路樹の草取り



定時総会



安全パトロール





花立遺跡発掘調査で就業の皆さん



遺跡発掘の説明会



生涯事業セミナー冬囲い



理事会



安全運転技能講習



初めての遺跡発掘調査に参加して

栄町 安 恒 窓

八十歳間近になって、初めて体験する遺跡発掘調査に参加できたことの驚き、喜びの一端を開陳します。

私は、横浜での五十年間の生活にピリオドを打ち、約十年前に加茂に移住し、シルバー人材センターの会員になりました。今回のお誘いを受けた時、中学生時代の自分を想起しました。その当時、真剣に「歴史の先生」になろうと考えていたからです。このことと今回の遺跡発掘が直感的にリンクし、無意識のうちに参加を決意しました。



約千年以上前の遺跡であることの事前説明会を聞き、心は踊りました。

新潟の著名な戦国武将である謙信やテレビで人気の光秀が活躍した時代よりも五百年以上も前の遺跡であり、現に自分が生活している加茂の地の遺跡であることを考え合わせた時は興味深深の想いでした。

私はグループ一班のメンバーに決まり、班長は藤田さんで、頼りがいのある先輩でした。全般の指揮官は加茂市教育委員会の伊藤さんで良い方でした。

特に土を掘る力仕事と出土品に対する繊細な配慮のバランスが要求される作業でしたので、予想以上の苦労の連続でした。伊藤さんの良き指導と激励によって、無事に作業が完了できたと思います。

作業中、文字記載の土器や小さな木簡等の発掘にも恵まれ、先人の生活の一端を垣間見ることができたことで、苦労が報われたような気がしました。

シルバーに入会して

八幡 石 井 紀 子

令和元年秋、夫の定年退職を機に、転勤族の妻だった私は、二十四年振

りに県外より実家のある加茂に戻って来ました。

転勤で移動している間は、どこへ行っても仕事に就きやすいよう、全国展開している幼児教室や学習塾のスタッフをしていました。通算二十年ほどしてきたので、やはり子ども相手の仕事をしたいと考えていました。

そして、シルバー人材センターの説明会に出席したものの、きっかけを掴めずにいました。その後、知り合った方がシルバー会員として児童館の管理補助をしていることがわかり、仕事内容を聞かせていただきましました。お陰様で私も夏休みからこの仕事に就くことができました。

仕事は、子どもたちが児童館で過ごす間、安全に楽しく過ごせるよう、指導員の下、サポートします。

子どもたちの元気な姿は励みになりました。遊びの中ではケンカもあり、子どもたちが社会性を身につけていく様子が見えてきます。

私は、その時々で友達のように一緒に遊んだり、母親のように悪いことは注意したり祖母のように知恵を貸してあげたりしながら今後も努めていきたいと思っています。

加茂山リス園の仕事

新町 志 田 良 夫

シルバー人材センターにお世話になること早二年になろうとしています。就業先は、加茂山リス園です。

リス園は以前から知ってはいましたが一回も見に行つたことはありませんでした。退職したら何をしようかと思っていました。

まだ体力には少し自信がありましたので、早速シルバー人材センターに入会することに決めました。

お知らせが届き、その中でリス園就業会員の募集記事が載っていました。申し込みをしたところ、リス園に勤めることができました。

就業して驚いたことはリス園の来園者が県内はもとより全国から訪れ、年間九万人近くの方が来園されることです。残念なことは地元の方の来園が少ないことです。せっかくこんなに大勢の方が加茂市に足を運んでくださるのに、何も活かしきれないのが現状ではないかと、市民として思っています。

少しでも加茂市のために活かすことができれば市民として誇れる町になるかと思っています。

仕事の内容は、リスの飼育と来園

者の対応、清掃作業などです。こんな人気のあるリス園に勤めることができ、嬉しくもあり不安でもありません。でも先輩方のおかげで仕事も教えていただき、少しずつ覚えることができ、感謝しています。

リス園には多くの子どもたちが訪れます。喜ぶ笑顔を見るとこちらもうれしく元気をもらいます。リス園のシマリスは市民の宝です。

これからも皆さんで大事に育てていただきたいと思っています。

遺跡発掘調査に従事して

秋房 武藤 庄一

9月の下旬より始まった、下条地区にある花立遺跡の発掘調査に従事してきました。

初日は、あまりの暑さと重労働で疲れてしまい、いつもより早めに床についてしまいました。翌日は他のメンバー達も同じような話で盛り上がっていました。

10月後半からは天気崩れる日があつたり、雨が続きたりで休みの日もありませんでしたが、皆さんの頑張りでしょう。見込みよりも1週間ほど早く終了しました。

この遺跡からは新潟日報で紹介さ

れたように剣形の木製品が出土しましたが平安時代の物としては県内初だそうです。

そして、今回の発掘調査で様々なことを知ることができました。土器には焼き方によって須恵器と土師器に分類され色も違うことが、恥ずかしながらもこの時初めて知りました。

また、普段ほとんど顔を合わす機会のない皆さん方でしたが、和気あいあいと作業できたことも大きな収穫でした。



出土した土器

会員の動きと事業実績

(11月末現在)

区分	令和1年11月	令和2年11月	比較
会員数	561人	515人	△46人
受託件数	2,708件	2,373件	△335件
契約金額	134,392千円	117,613千円	△16,779千円
配分金額	121,535千円	104,903千円	△16,632千円
就業実人員	399人	333人	△66人
就業延人員	27,822人	22,807人	△5,015人
就業率	71.1%	64.7%	-6.4ポイント
派遣契約額	12,360千円	15,678千円	3,318千円
派遣賃金額	9,552千円	12,302千円	2,750千円
派遣実人員	36人	72人	36人
派遣延人員	2,897人	3,572人	675人

事務局だより

シルバー会員募集しています

会員の皆さんによる「ひとり1会
員入会運動」を引き続き展開いたし
ております。

皆さまのご紹介による新規の会員
が少しずつ増えております。今後と
もご協力お願いいたします。

今年度は、ご紹介の会員に後ほど
「加茂美人の湯」無料入館券一枚を
お贈りさせていただいております。

入会については毎月、第二金曜日
の午前9時30分から二時間程度、

「シルバー入会説明会」をゆきつば
き荘で開催しています。（広報かも
お知らせ版、暮らしのカレンダー欄
に掲載されています。）

お近くの方、お知り合いの方にぜ
ひ声をかけていただけますようお願い
いたします。

今後の事業の開催予定について

各種事業が開催される場合は、新
型コロナウイルス感染症拡大防止の
ため、人数制限、マスクの着用、ア
ルコール消毒、座席の間隔を保つな
どの対策を行います。ご参加される
ときは、ご協力をお願いいたします。

1月 「シルバー加茂」第57号発行

リフレッシュ講座（3回）

就業問題特別委員会

地区連絡員会議

2月 理事会

第2回安全管理委員会

襖・障子はり講習会

3月 職群班研修会（庭木）

4月 理事会

5月 令和3年度定時総会

庭木のせん定講習会

6月 料理講習会

7月 安全就業強化月間

第1回安全管理委員会

就業現場安全パトロール

※ 予定される事業は、コロナ禍で
中止または延期される場合があります。
詳しい日程等が決まりしだ
い文書でご案内いたします。

○会員の「安全就業」については、
皆さまからご理解、ご協力をいただ
いており、令和2年度はケガをされ
た方はゼロとなっております。
これからも冬場の凍結でケガをさ
れないようにご注意ください。
○コロナ禍で「新しい生活様式」な
ど日常生活のスタイルが具体的に示
されています。3蜜の回避、手洗い、
マスクの着用など、いざ行動するに
してもいろんなことが制限されてお
ります。会員の皆さんが就業される
場合は、今一度、自分の安全は自分
で守るという意識をもちましょう。
現在の自分の体力や状態をまず自
覚すること、意識をしながらの行動
が大切です。

いつまでも働く喜び無事故から

編集後記

新年あけましておめでとうござい
ます。健やかに新年をお迎えのこと
とお喜び申し上げます。昨年は、新
型コロナウイルスに翻弄された一年
でした。経済社会に及ぼした影響は
計り知れないものがあります。

会員の皆様も大なり小なり影響を
受けたのではないのでしょうか。コロ
ナ禍が一刻も早く終息し平穏な日常
生活が戻ってくることを願ってやみ
ません。

さて、今年の干支は「丑」牛年で
す。牛年は、良いことの前触れ・こ
れから発展する前触れ。と言われ縁
起の良い年です。「牛の歩みも千里」
ということわざがあります。

承知のとおり、牛のように歩みが
遅くてもいずれば千里に届く、努力
を怠らなければ大きな成果を得るこ
とができる。という意味です。

私たちシルバー世代は先を急ぐ必
要はありません。明るく楽しく、く
よくよしないでゆつくりゆつくり進
みましよう。

本年も良い年となりますよう、会
員皆様のご健勝とご多幸を心より祈
念しております。

（弥久保誠吾）

配分金支払日

- ◆ 2月10日（水）
- ◆ 3月10日（水）
- ◆ 4月12日（月）
- ◆ 5月13日（木）
- ◆ 6月10日（木）
- ◆ 7月12日（月）
- ◆ 8月10日（火）

月によって、10日が
支払日ではない場合が
あります。明細書は
3ヶ月ごと郵送します。
その月の支払日をよ
く確認をしてください。